

第 79 号

編集・発行  
白山高等学校PTA印刷  
伊藤印刷株式会社

2025. 3

御  
礼

PTA会長 荒木美和

日頃よりPTA活動にご理解ご協力賜り誠に有難う御座います。

コロナ禍の様々な制限が無くなりかつての活動と日常を取り戻し学校活動も始まっています。体育祭、修学旅行、ボランテニア活動、文化祭、一つ一つのイベントや活動が子供達にとっても心に残るものになったかと思えます。

本校PTAとして有意義な学校生活を送ることが出来るよう保護者、教職員、地域の皆様のご協力本当に感謝しております。

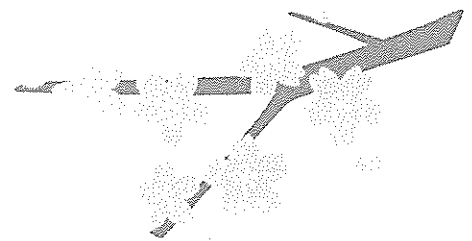
さて、卒業を迎える三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者、ご家族の皆様お子様が御立派に成長されこの日を迎えられること心よりお祝い申し上げます。そして、校長先生をはじめ先生方におかれましては子供たちをここまで温かく導いていただきました事、保護者を代表して心より御礼申し上げます。

この白山高校での三年間楽しかった事、悲しかった事、悔しかった事色々学ぶことが出来たかと思えます。次のステージに進む皆さんにはこれから難しい壁にぶつかる事もあるかと思いますが皆さんには友人、家族が常に味方になってくれます。新しい事を学ぶ事で成長し続けていき皆さんが周りを助けていく側の人間となっていく事に繋がります。

在校生の皆様も一年後二年後卒業が待っています。沢山の思い出、経験を積み充実した高校生活を送ってください。

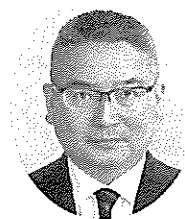
最後になりますが、白山高校PTA会長として至らない点多々あったと思いますが支えて下さった保護者の皆様、教職員の皆様心より感謝申し上げます。今後皆様のご健康とご多幸をお祈りいたしましてご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。



卒業、おめでとう!

## ご卒業おめでとーございます



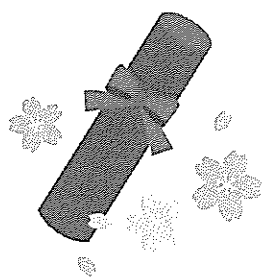
校長 奥 出 博 之

保護者のみなさま方におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。今年度も白高祭（文化祭）での模擬店出店など多くの行事に関わっていただき、一層充実した教育活動ができました。子どもたちが自分の可能性を信じ、挑戦し続ける姿を見守り、成長しているようなサポートや励ましが、子どもたちの自信や意欲を育む大きな要因となっていることを改めて実感した次第です。今後ともよろしくお願いたします。

さて昨年の夏、茨城県で行われたPTA全国大会の記念講演で、二所ノ関部屋（相撲部屋）の親方が「人材育成の不易流行」を演題として、講演をされました。オンラインでの参加でしたが、和やかな会場の雰囲気伝わってくる講演会でした。講師は、かつて大相撲の土俵で、第七十二代

横綱・稀勢の里として活躍された関取です。相撲の親方とは思えない、穏やかな口調で話されました。いわゆる相撲部屋の親方とは、直接目を合わせて会話することもない威厳のある存在だそうです。現役だった稀勢の里時代の親方も例外ではなく、親方とのコミュニケーションは、返事をするくらいに存在だったとのことです。現役引退後は、もう一度学び直すために、早稲田大学大学院スポーツ科学研究科に入学し、広い視野を持つことが大切であることを知りました。現在は、出身の茨城県にある二所ノ関部屋の親方として、力士の育成に努めておられます。日本の伝統であり、国技である相撲の所作は、変えることができないところも多くあるなか、親方としての姿勢は大きく変えた。弟子の力士とは、積極的にコミュニケーションをとるように努め、また力士の微妙な変化をつかみとるため、目を見て話すよ

うにしているそうです。今回の講演を聞き、初心やいつまでも変化しない本質的なものを忘れないなかにも、変化を恐れず、新しいことにチャレンジする精神である「不易流行」について、改めて考えさせられました。卒業生には「不易」という変わらない部分と、「流行」という変化する部分をバランスよく持つことで、一層充実した人生を送られることを願っています。最後になりますが、卒業生の保護者のみなさま、本日卒業式を迎えられ、これまでのお子さまへのご指導・ご支援に対して、敬意を表しますとともに、心からお慶び申し上げます。三年間を振り返ってみますと、いつも変わることなく、本校に深いご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。みなさまの益々のご健勝と、ご多幸をお祈り申し上げます。お祝いの言葉といたします。



## 三年主任より

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんが入学した時は、まだコロナ禍でした。お弁当も黙食でしたね。このような中でスタートした高校生活でしたが、今となっては、それも思い出のひとつですね。

さて、皆さんと過ごした三年間を振り返り、様々なことが思い出されます。遠足、体育祭、修学旅行、文化祭などなど。いろいろなことがあった三年間でした。振り返ってみると、皆さんと同じように私たち担任も日々思い悩んだ三年間だったように思います。

今、皆さんは新しい世界へ羽ばたこうとしています。就職する子、進学する子、様々です。進路が決まり、高校での目標を達成し、そこがゴールのように感じてしまうのですが、皆さんは今からがスタートです。これからたくさん素晴らしいことが待っています。新たな世界で、いろいろなことを経験し、たくさんの人に出会おうと思います。時には辛いこと、しんどいなあと思うこともあると思います。でも、白山高校で三年間頑張れた皆さんなら大丈夫。今、

不安でいっぱいの人もあるかもしれませんが。しかし、不安な中にもワクワクする気持ちを持ち、そのワクワクを楽しみながら、一步一步前に進んでいってください。疲れたときは、無理をせず立ち止まり、白山高校での思い出を振り返りながらちよっと休憩してみてください。いつもいつも全力では進めません。一步一步ゆっくりで大丈夫だよ。

皆さんと過ごした三年間、私自身もあなたたちから素晴らしい時間をいただきました。皆さんの成長を近くで見ることができ、本当にうれしく思っています。ありがとう。

最後になりましたが、保護者の皆様、この三年間、白山高校での教育活動にご協力いただき本当にありがとうございます。三年間担任させていただきます。お子様のさらなる活躍を願っております。

## 生徒会より

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

本年度も、様々な生徒会活動を行うことができました。四月に新入生

との対面式、五月に高校総体の壮行会、六月に体育祭と家城地区クリン作戦、七月にクラスマッチ、十一月に文化祭、十二月にクラスマッチを実施することができました。三月にもクラスマッチを行う予定です。

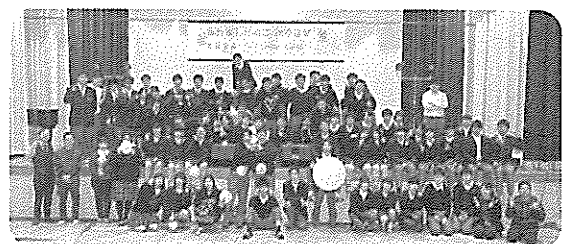


特に文化祭は「みんなでしかのin白高祭二〇二四」をテーマに保護者の皆様・地域の方だけでなく、白山中学校の生徒さんも招待し実施しました。多くの保護者ご家族、地域の方々、中学生の皆さんにご来校いただき、生徒たちの生き生きとした様子を見ていただけたと思います。

模擬店だけではなく、舞台発表や展示・装飾部門においても、日頃の成

果の発表に頑張りました。

茶道部や美術部、書道部などの文化部の展示、弓道部の実演、各クラスや各授業の生徒たちの創意工夫を凝らした展示などで大いに盛り上げてくれました。また、



今年は、文化祭一日目に『ビートルクルー』さんに来ていただき、生徒たちが心惹かれ、心動かされる姿に感動をしました。文化祭後のアンケートでも「楽しかった」「見に来てもらって嬉しかった」「盛り上がった」という感想が多く見受けられました。

生徒会役員の生徒たちが、学校のためにと一生懸命考え、試行錯誤し創り上げてきた様々な生徒会行事を、クラスで団結し共に励まし、喜び合った高校時代の思い出として、三年生の皆さんの心に、少しでも残る企画となっていたら、とても嬉しいです。

生徒会活動としては、生徒会役員と生徒会顧問で毎朝、校門での挨拶

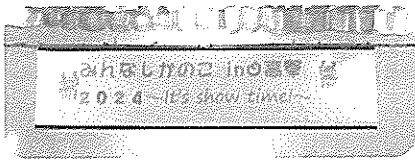
運動を引き続き実施しています。また、中学生対象の「高校生活入門講座」では毎回、学校を代表して学校紹介や校内案内に活躍しています。

今後とも生徒会として出来ることに最大限に取り組み、生徒の皆さんに少しでも充実した高校生活を送ってもらえるように生徒会役員と意見を出し合い、チャレンジしていきたいと思っています。

今後とも、保護者の皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、改めて三年生の皆さんご卒業おめでとうございます。高校三年間は、皆さんにとってどうだったでしょうか？

皆さんのこの先の人生に幸あれ



## 野球部より

卒業生、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

今年の卒業生の皆さんは、先輩方の結果を超えるために、キャプテンを中心として苦しいことでも前向きに頑張っていたとスタートしたチームでした。しかし、新チームでの秋季県大会は苦しいスタートとなりました。一回戦の神村伊賀に大敗し、二次予選でも名張青峰に惜敗するなど、県大会出場のために後がない状況となりました。そこから自分たちの現状と取り組みを見つめなおし、三次予選できっかけをつかんだことで、ベスト十六という結果を残すことができました。秋の練習試合では、県外の強豪との練習試合を重ねる中で、勝ちきれない悔しさを感じるたびに、もっと強いチームになるために努力してきました。少しずつ自分たちの強みを生かした野球ができてくると、強豪とも互角に渡り合えるようになってきました。

シーズンが終わり冬を迎え、自分たちの強みを生かすためにもっと体を鍛えようと厳しい練習にも前向きに取り組んだことで、明らかに一回り大きくなった体で春の地区予選に

臨みました。一回戦では練習の成果が出てコールド勝ちでスタートできたものの、秋に敗れている神村学園に二度目の大敗を喫しました。しかし、次の代表決定戦で県大会出場を決めることができ、県大会一回戦の四日市南戦ではコールドを決めるホームランで勝利を収めることができました。

春の練習試合で特に印象に残っているのは静岡遠征です。強豪相手に三日間で六連勝を飾り、自信をつけることができました。そして迎えた三年生最後の夏、第一〇六回選手権大会三重県大会。スタンドには多くの保護者の方や友達、学校関係者が応援に駆けつけ声援を送ってくれました。相手は伊勢高校で、試合は緊張から中盤まで主導権を握られ、苦しい展開となりましたが、最終回二点差で負けている場面から執念で追いつき、延長戦となりました。十回の守備では相手の攻撃のミスもあり、最少失点に抑えることができました。ものの、裏の攻撃で相手の好守に阻まれ得点できず、初戦敗退が決まりました。悔しい思いがこみ上げ、しばらく動くこともできませんでしたが、最後まで戦い抜いてくれた選手には感謝しかありません。

高校卒業を迎えた三年生にとって、

今がまさに、『人生のプレイボール』です。白山高校グラウンドでの経験を糧に、高校での多くの出会いを大切にして、次のステージに大きく羽ばたいてください。

最後になりましたが、保護者の皆様、地域の皆様には、野球部の活動にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございました。今後とも、白山高校野球部をよろしくお願いいたします。

### 〈公式戦 戦績〉

#### 第76回 秋季三重県大会 中勢地区予選

1次予選	白山	3-13	神村伊賀
1回戦	白山	2-4	名張青峰
2次予選	白山	20-2	伊賀白鳳
1回戦	白山	15-4	亀山
2回戦	白山	7-3	久居(代表決定)
3次予選	白山	8-0	津工業
1回戦	白山	2-6	近大高専
2回戦	白山	7-0	伊賀白鳳
決 勝	白山	3-12	神村伊賀

#### 第71回 春季三重県大会 中地区予選

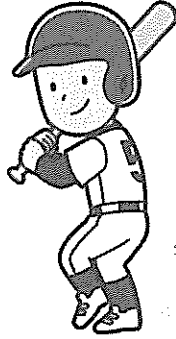
1次予選	白山	7-0	伊賀白鳳
1回戦	白山	3-12	神村伊賀
2回戦	白山	7-0	伊賀白鳳
1回戦	白山	3-12	神村伊賀

代表決定戦 白山 10-0 神戸  
三重県大会

1 回戦 白山 7-0 四日市南  
2 回戦 白山 1-5 三重

### 第106回 選手権大会 三重県大会

1 回戦 白山 3-4 伊勢



## 陸上競技部より

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

陸上競技部としての活動を行なっていく上で、部員数減少の影響はとて大きく、三年生にとって大変なものだったと思います。辛く厳しい冬期練習は一人での練習が続くこともありましたね。大会への出場なども含め、例年に無い困難な状況だったように思います。そのような中、六時三十分からの早朝練習にもかかわらず六時には自主的に練習を始めていて集合時間にはすでにメイン練習に入っているほどの意欲を見せてくれたり、練習相手や新たな刺激を求めて合宿や合同練習に参加したり、どんな時も弱音を吐かず活動を続けた三年生の姿からは、指導する側である私の方も刺激をもらいたくさんのことを学ばせてもらいました。指導に携われた私は本当に幸せだと感じています。

また競技の面でも三年生として立派に活躍してくれました。県大会である国体予選の少年男子円盤投で、自己新記録をマークし八位入賞を果たしてくれました。また体方面でもベンチプレスやハイクリーンでは二二〇kgと

いう高重量でトレーニングするなど、コツコツと積み重ねて成長した姿には、ただただ驚かされるばかりでした。

その競技実績や、競技そのものに取り組み姿勢からは後輩たちも多くのことを学んだと実感しています。三年生が引退してからも、一年生が三重県高校新人の女子砲丸投で六位（東海高校新人に出場）、男子砲丸投で八位とW入賞することができました。また二年生も100mで11秒前半の自己新記録をマークするなど、先輩たちが積み上げてくれたものは確実に引き継がれていると強く感じました。

もちろんこれらは陸上競技部だけでなく、三年生が作ってきた学校の雰囲気、保護者の方や応援してくださった先生方・仲間の協力、指導も含め様々な面でサポートをしてくれたOBの存在があったことだと考えています。

『立てた目標は何のためにあるのか？』『この目標を達成すると誰がどんな風に喜んでくれるのか？』といった目的の部分にまで考えを広げ、プラスの言葉を出し、チーム全体が今まで以上に向上していけるよう頑張っていくます。

白山高校陸上競技部は、これからも応援し続けてもらえるようなチーム

ムを目指します。

三年生の皆さん、白山高校で学んだこと・継続してきたことを自信にして、これからの人生も頑張ってください。ありがとうございました。

今年度の主な大会成績など

・国体第一次選考競技会

少年男子円盤投

8位・宮田 和平（三年二組）

☆自己新☆

少年B男子円盤投

4位・伊藤 煌徒（二年三組）

・三重県陸上競技選手権大会

少年B男子円盤投

4位・伊藤 煌徒（二年三組）

☆自己新☆

・三重県高等学校新人陸上競技大会

女子砲丸投

6位・平林穂乃華（二年一組）

☆自己新☆

男子砲丸投

8位・伊藤 煌徒（二年三組）

☆自己新☆

・東海高等学校新人大会

女子砲丸投

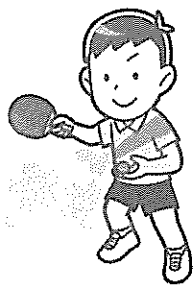
18位・平林穂乃華（二年一組）

## 卓球部より

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆さまには卓球部の活動へのご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

今年度は、四月二十日に行われた、県総体中勢地区予選シングルス・ダブルスに参加しました。六月一日の県総体団体戦は、部員の怪我により、残念ながら参加できませんでした。三年生の四名は、一年生の時から、少人数ながら練習方法を工夫し、地道に活動を積み重ね、練習に励んできました。部活動を通して経験してきたことは、それぞれが大きな自信になったことと思います。

卒業後も、また新たな目標を立て、日々の生活を大切にしながら、着実に一歩一歩進んでいってくれるものと思います。保護者の皆さまも、今後ともご支援のほどよろしくお願いたします。



## 弓道部より

三年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆さまには弓道部の活動へのご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

この三年間で大会の様子が随分と様変わりしています。二年前は、無観客の静かな雰囲気で開催が可能になりました。昨年は観覧が可能になり、少し騒がしく落ち着かない雰囲気の中で行射することに慣れる必要がありました。今後は男女入替制も廃止され、競技時間が長くなります。常に変化への対応に迫られ、随分と緊張することが多かったのではないかと思います。そんな状況で



もこつこつと練習を積み重ねて成長した姿が本番で見られました。

今年度も十一月に実施された文化祭では、日頃の練習の様子や団体戦を再現した「立」を見ていただくことができました。これからも応援して下さる方々への感謝の気持ちを忘れず、一つずつ目標を達成できるように活動を続けていきます。三年生のみなさんは弓道部での経験を活かし、これからも活躍していきましょう。

## 男子バスケットボール部より

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

共に駆け抜けた三年間でしたが、くじけそうになりながらも自分自身と向き合い、互いに高め合い、我慢をし、人として大きく成長してくれたいと思います。

時に、気持ちと気持ちをぶつけ合い、時に、手と手を合わせて励まし合い、人一倍仲間を想い、そんな三年生の姿を見て育った一・二年生は今、三年生の姿を追いかけ精一杯練習に励んでいます。

競技面では、中々思うような結果が出ず、最後の大会も悔しい終わりが

方となりましたが、君たちがコート

に立ち、堂々と戦う姿にとっても感動しました。君たちと共に過ごした三年間は、私たちの宝物です。

これから先、社会に出たときに挫けそうになる時もあるでしょう。そんなときには、君たちの聖地・体育館にいつでも遊びに来て下さい。

この先も『感謝の気持ち』を忘れず、『当たり前を大切に』して、たくさんの人とつながり、成長をし続ける人生を歩んでいってください。

君たちのこれからの大いなる成長を楽しみにしています。また、近況報告をしがてら、顔を見せてください。卒業おめでとう。

最後になりましたが、保護者の皆様、応援してくださった先生方、OBの皆さん、バスケットボール部の活動にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。今後とも、白山高校バスケットボール部をよろしくお願いたします。



## 吹奏楽部より

今年度は部員が二年生二名という寂しい状況でしたが、地道に活動を続けることが出来ました。

七月に行われた夏の野球応援は、OB・OGの協力も得て、「狙い撃ち」「アフリカンシンフォニー」等おなじみの曲を演奏しました。真夏の空にメロディーを響かせる体験は高校部活動ならではのものです、生徒の心に深く刻まれたと思います。

十一月に開催された文化祭では、「夜に駆ける」「アスノヨゾラ哨戒班」「残酷な天使のテーゼ」を選曲し、顧問四名も加わって盛り上げました。計六名という少人数バンドながら、体育館の隅まで届くように出来る限り大きな音で演奏を行いました。



また同月には一志病院で開催された「健康のつどい」にも出演しました。生徒たちは一般の方々の前で演奏するという緊張感と達成感を得ることが出来たようです。

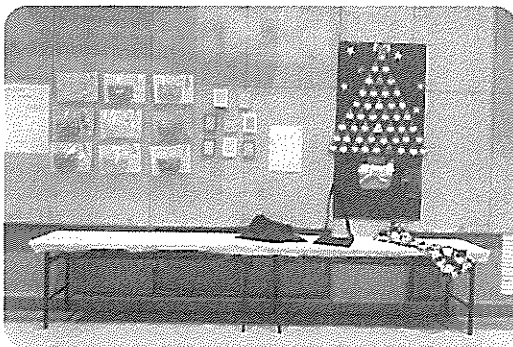
ただ近年、吹奏楽部は慢性的な部員不足が続いており、今後の活動が充分に行えるかどうか危ぶまれる状況です。来年度はたくさんの方の新生が吹奏楽部の門を叩いてくれることを期待しながら、四月のクラブ紹介を目標に、今日も地道に練習を重ねています。

## 家庭部より

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

三年前、皆さんが入学した時は、まだまだコロナ渦でした。学校行事も部活動も制限がある中で、高校生活が始まりました。このような中でスタートでしたが、あっという間に三年がたち、もう卒業ですね。これから大変なこともあると思いますが、一歩一歩前へ進んでいってくださいね。

さて、家庭部ですが、今年度も被服製作を行いました。四月から、卒業後に使うトートバッグ等を作りました。自分で布を選び、裁断・縫製



し、できあがった時は、とてもうれしいです。文化祭では昨年度作ったものも展示し、皆さんに見てもらいました。

家庭部は週一回の活動ですが、自分の作りたいものを作りながら、物作りの楽しさや喜びを味わっています。

被服製作はとても大変な作業で時間もかかりますが、作業をしながらリラックスできたり、できたときには、大きな達成感を味わうこともできます。家庭部は今後もいろいろな物作りを楽しみながら活動していきたいと思っています。

## 茶道部より

本校茶道部は、地域で行われるイベントに参加し、近隣の小学生や地元の方々と触れあえる機会を持つことができました。お稽古も、イベント参加に向けて頑張ることができました。今年度は部員が少なく、いろいろな人に助けってもらいながら、活動をしてきました。日頃のお稽古だけでなく、地域で土日に開催されるイベントにも積極的に参加してくれました。三年生には、本当に感謝しています。重たいお道具を運び、たくさんのお茶碗を洗ってくれましたね。お点前



も、上手になりました。卒業後も、茶道部の活動を通じて学んだことを生かしてもらえると嬉しいですね。



## 人権サークルより

三年生の皆さん卒業おめでとうございます。

今年度は、二年生二名、三年生二名の四名が人権サークルのメンバーとして活動しています。

毎月一回程度、金曜日の放課後に、中勢地区高校生人権活動交流会（中勢地区高校生友の会）に津西高校で行われる会に参加しました。四名の中には、他のクラブとのかけもちの生徒もおり工夫しながらの一年間の参加でした。

白山高校三年生の二名は本校のメ

ンバーであると共に中勢地区高友の会の卒業生でもあります。

先日、一月十七日（金）の人権活動交流会に白山高校からは人権サークルの四名が参加しました。当日は、「卒業生を送る会」と題して、しばしの欲談の後、六人のグループに分かれた後、箱の中から司会の方がお題を取り出し、紙に書かれた「言葉」「もの」「公式」など、司会の方が「YES」「NO」で答えて、グループのみんが推理連想しながら答える形式のゲームをしました。

参加した生徒は、人の質問や司会者の返事を聞いて、キーワードを当てて楽しい時間を過ごしました。

その後、白山高校の二年生が、卒業生にお祝いの歌を歌ってくれました。最後にみんな卒業へのお祝いの言葉や人権への思いを伝えて和やかな会は閉会しました。

卒業生の皆さんこれからも学校で学んだことを生かして、人権活動の自分の歩みをしっかりとしてすすめてください。今後のご活躍をお祈りいたします。



## 生徒指導部より

「卒業おめでとう」  
三年生のみなさん、卒業おめでとうございます。

卒業にあたり、皆さんはどのような気持ちが強いですか？新しい世界に飛び込む喜びでしょうか、それともうまくやっけていけるかという緊張したような気持ちでしょうか？もし緊張の気持ちがあるのなら、その気持ちも大事にしてほしいと思います。

緊張は不安からくるものもありますが、「うまくいかせたい」「成功したい」という気持ちから生まれるものもあります。新しく入る会社や学校で「うまくいかせたい」から挨拶をしっかりとしようと思ったり、時間を守ろうと思うわけです。「緊張」を良い行動につなげて、ぜひとも良いスタートを切ってほしいと願います。



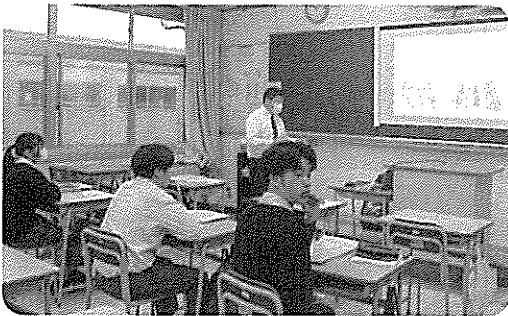
高校生活の三年間、たくさんの方の決まりがありました。その決まりを守れなかった場合、今までは先生から指導を受け、あらためるべきことを教えてもらいましたが、これからは、自分で考えなければならぬこと、気づかなければならないことが確実に増えます。大変なのは間違いないのですが、君たちは四月からは「初心者」なのだから分らないことは遠慮なく先輩に聞きましよう。同期の仲間をつくりましよう。仲間と何をすればよいのか相談しましよう。その先輩や仲間と良い関係をつくるために「礼儀」や「気くばり」が必要なのです。高校生活で身につけた人間性を新しい世界で活かしてください。



最後に、働くにも勉強するにも、何より大事なものは「健康」です。新しい環境で心も体も大変なときがくると思いますが、睡眠・食事などしっかりとって「健康第一」で頑張ってください。活躍を祈っております。



## 進路指導部より



5月28日実施進路ガイダンスにて

卒業生の皆さん、そして保護者の皆様へ心よりお祝い申し上げます。この春、皆さんと一緒に卒業の喜びを分かち合えることを、進路指導部一同、大変うれしく思っております。

高校生活は、勉強はもちろん、部活動や学校行事など、様々な経験を通して大きく成長されたことと思います。特に、卒業を控え、就職試験に向けて努力された皆さん、そして進学に向けて、将来の夢に向かって邁進された皆さんには、心から敬意を表します。

就職活動は、決して平坦な道のりではなかったでしょう。それでも、皆さんには、目標に向かって諦めずに

努力する姿がありました。その経験は、きっと将来の大きな力となるはずです。進学をされる皆さんも、様々な大学や学部を比較検討し、自分自身の将来を真剣に考えられたことと思います。そのように、ご自身の将来をしっかりと見据えて選択できたことは、素晴らしいことです。

これから社会に出て、様々な壁にぶつかることもあるかもしれません。就職先で迷うこともあるでしょう。そんな時は、焦らずに周りの人に相談し、視野を広げてみてください。少しくらいの回り道は、人生にとっては必ずしも無駄なことではありません。むしろ、様々な経験をすることで、自分自身を深く理解し、より豊かな人生を送ることができるようになります。皆さんには、それぞれの個性と才能があります。その個性を活かし、自分らしく生きていってください。皆さんの未来が、希望と光に満ち溢れたものであることを心から願っております。

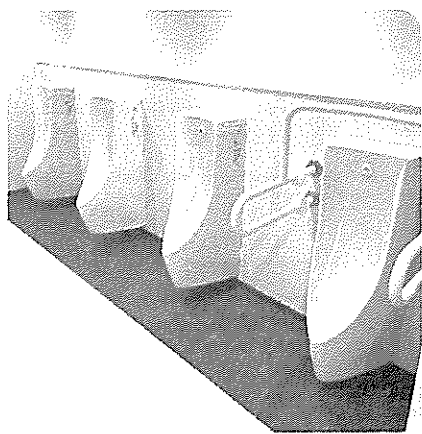
最後に、保護者の皆様へ。お子様の成長を温かく見守り、支えてくれたことと思います。ご卒業、誠におめでとうございます。そして、これまで学校教育にご協力いただき、誠にありがとうございました。卒業生の皆さん、保護者の皆様の今後のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

## 令和6年度 進路一覧

拓殖大学	南九州大学	鈴鹿大学
名古屋産業大学	高田短期大学	あいち造形デザイン専門学校
旭美容専門学校	伊勢志摩リハビリテーション専門学校	伊勢理美容専門学校
大原法律公務員専門学校 津校	専門学校セントラルトリミングアカデミー	専門学校名古屋ホスピタリティ・アカデミー
名古屋工学院専門学校	名古屋デザイナーアカデミー	名古屋ビジュアルアーツ・アカデミー
日産愛知自動車大学校	ミエ・ヘア・アーティストアカデミー	ユマニテク看護助産専門学校
株式会社IBEE	社会福祉法人あけあい会	株式会社ALoud
井村屋株式会社	AGCガラスプロダクツ株式会社 久居工場	株式会社MSコーポレーション
株式会社おやつカンパニー	黒崎播磨株式会社 名古屋支店	三恵技研工業株式会社 安濃工場
G-7スーパーマート	ジャパンマリノユニテッド株式会社 津事業所	住友理工株式会社
ダイジェット工業株式会社	株式会社テイ・エス・メカテック	トヨタ車体株式会社
ナカムラ建設	株式会社名古屋ニチレイサービス	ニチリン白山
ニプロファーマ株式会社 伊勢工場	株式会社粟山電器製作所	株式会社久居LIXIL製作所
飛騨運輸株式会社	株式会社フジシール 名張工場	株式会社ホンダカーズ三重
本田技研工業株式会社 鈴鹿製作所	三重中西金属株式会社	有限会社三重パイピング工業
藪建設株式会社	ヤマトホームコンビニエンス株式会社	株式会社ライジング 明和工場
ロート製薬株式会社	自衛官	

## 保健部より

日頃は、お子様の体調管理、感染症対策にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。今年度は、七月から十一月の改修工事を経て、二棟の生徒用トイレが新装となりました。すべて洋式便器となり、床は汚れが少なく、雑菌等がつかにくい乾式が採用され、生徒たちがよリストレスなくトイレを使用することができるよう整備されました。健康や尊厳を保つため、重要な役割を果たすトイレは学校で最も大切な施設の一つです。いつも気持ちよく使用するために、他者への思いやり、みんなのものを大切に使うという心を持って育んでいきたいと考えています。



また保健部では、保健講話を実施しました。本校スクールカウンセラー田中二美様には、こころや身体のよい状態をつくりだす神経系の仕組みや怒り、不安を収める方法などを教えていただきました。また、性に関する講話として、七月には三年生を対象に助産師の林みち子様、十二月には二年生を対象に助産師の大川知美様をそれぞれ講師にお招きし、性の多様性やデートDV、妊娠、出産など幸せに生きていくために必要な性の知識を教えていただきました。

正しい知識を知ることがもとより、自分も相手も尊重できる対等な人間関係について考えるきっかけになりました。また、大人も相談にのる力が必要であるというお話もあり、私たちが教職員も身が引き締まる思いになりました。

卒業生のみなさんにとっては、いずれも高校生活で最後の機会となりましたが、お話から得た気づきを今後の人生にしっかりと役立て、幸せな人生を送っていただきたいと思えます。ご卒業、誠におめでとうございませう。一・二年生のみなさんには引き続き、充実した高校生活を送ってもらうために必要な内容を今後もお伝えしていきたいと考えています。今後とも、保健部の活動にご理解、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

